

・再商品化製品の単一素材化・品質安定・収率重視。



前述の観点から ・単一素材化。 ・品質安定。 ・収率を重視し、高機能な利用製品を効率よく作るを考えると。

▶ 単一素材化。

材料リサイクルにあつて容器包装 To 容器包装というリサイクルは考えにくい。その意味では現行プラスチック製容器包装の材料リサイクルとしての単一素材化とその品質の向上という方向は投入コストと市場性(市場規模と市場価値)を慎重に検討すべきと考える。

▶ 品質安定。

再商品化製品を材料として受け入れる市場の要求とし最も重要な項目である。原材料として供給されるベール品質のコントロールが困難な再商品化事業者としてはハードルの高い課題ではあるが、その重要さは認識しており、利用事業者との交流、連携を通して十分に改善は可能であると考え。

▶ 収率重視と高機能製品の効率製造。

収率の重視は再商品化製品の品質改善を妨げるもので、市場には歓迎されない。低品質材料による製品製造は材料コストの低減による製造コストの削減効果を期待しがちだが、中・長期的にみると、成形装置・金型の腐食・劣化を早め結果的にはコストアップになる事が多く、また臭い、ガスの発生等、成形メーカーの作業環境上も望ましくない。

⑤. 材料リサイクルの高度化に向けた他の主体への協力のお願い



他の主体	協力をお願いしたい事項
・一般消費者	材料リサイクルの重要性とそのプロセスの理解。洗浄・分別排出の徹底を通しての容器包装リサイクルへの積極的な参加。
・市町村	容器包装リサイクルへの積極的な参加。一般消費者への啓発、分別回収の徹底。ベール品質改善への協力。
・中間処理事業者	中間処理工程における異物除去の徹底とベール品質改善、安定化への協力。
・利用事業者	積極的な製品への採用と情報開示。 材料リサイクル事業者へのフィードバック。
・特定事業者	容器包装における環境配慮設計の推進。再商品化製品利用製品の積極的な採用・購入。

⑤. 材料リサイクルの高度化に向けた他の主体への協力のお願い

他の主体	協力をお願いしたい事項
・容器包装リサイクル協会	実態に即したルールの策定、変更、運用。 材料リサイクル事業者の指導・育成。 関係主体の交流の場の設定と調整。
・関係省庁	容器包装リサイクル(広くプラスチックリサイクル等の可能性も含め明確な将来ビジョンの提示と強力なリーダーシップによる各方面への支援・指導。

⑥. 総括

徹底的な産廃処理コスト削減対策

水分の除去

工程別排出物(水分含む)

比重選別工程:約40%(対投入量)、内樹脂成分約30%

遠心分離工程:約18%(対投入量)、内樹脂製分約15%

比重選別産廃の脱水処理(汚れ、紙ラベル等も除去)

脱水後の樹脂成分	成分	PE	PP	PS	PET	PVC	不溶部	塩素量
	%	3・・6	2・・6	10・・20	40・・75	0・・5	2・・8	0.08・・1.3

除去した残渣の
塩素量 0.8~1.5%
⇒塩素は汚れ成分

汚れ除去を強化

主成分は**PS・PET**

RPF原料にとどまらず

固形化⇒コークス炉・高炉還元材向けの二次再商品化製品

共創によるリサイクル率の飛躍的な改善

容器包装リサイクル全体の大幅なコストダウン